

## 2013年成人式が開催



▲市内新成人495人中、当日473人が出席した成人式

1月13日、文化体育館で成人式が開催されました。毎年、新成人が実行委員会をつくり、自分たちの手で企画、準備、運営を行って趣向を凝らした式典が開かれています。今年も「繋」をテーマに、473人の新成人が出席。家族や地域、恩師などが、これまで多くの人たちに支えられて成長してきたことに感謝し、これからも多くの繋がりを大切に、自分たちの人生を歩



▲久保有佐さん



▲1/2成人式



▲ダーツの旅in南あわじ

む決意を新たにしました。

二十歳の決意では、プロ歌手を目指して東京で活動している久保有佐さんが、夢への自分の気持ちこめて歌を披露。実行委員が市内各所を訪れて、さまざまな人たちにインタビューして製作した映像「ダーツの旅in南あわじ」では、「若い力で地域を盛り上げてほしい」「子どもを多く育てて人口を増やしてほしい」など、新成人へのエールやアドバイスが贈られ、微笑ましい会話に会場からも笑みがこぼれていました。また、懐かしい恩師からのビデオレターの上映や、小学4年生が参加する1/2成人式が行われ、会場は和やかな雰囲気につつまれました。

式典の最後、実行委員長の梶純也さんは「育ててくれた命を大切に、自分を見失わず、若者らしく、一日一日を大事にしたい」と締めくくりました。

## 灘黒岩水仙郷が開園中です



▲市のホームページでも開花情報を発信しています

南あわじの冬の観光名所「灘黒岩水仙郷」は約7ヘクタールの斜面に500万本も

の野生の日本水仙が自生し、日本水仙三大自生地のひとつとしても有名です。気品ある香りと海のさざ波の音に包まれ、毎年全国各地から多くの人が訪れます。今年も例年より少し咲き始めるのが遅かったため2月末日ごろまで開園予定です。開花は天候等で日々変化していますので、お越しになる前に同水仙郷までお問い合わせください。



▲昨年12月28日より開園中

灘黒岩水仙郷  
56・0720  
商工観光課  
37・3012

## ボランティアに支えられた1年

視覚障害者が、社会人としての幅広い教養や実用的な知識・技能等を習得するとともに、広く県民との交流の場を通して相互理解を深め、ともに生きる喜びを創造する場を提供する「淡路青い鳥学級」の事務局を平成24年度より市が3年間担当しています。この1年は学級の運営にあたり、ボランティアグループの人たちの支えのおかげで、円滑な運営ができました。



▲お香作り体験の様子



▲体操教室の様子

淡路青い鳥学級

## 今年も地域防災に取り組みます



▲三原健康広場グラウンドに集まった消防団員

消防団初出式が1月6日、三原健康広場グラウンドで行われました。この日参加した消防団員1070人による力強く堂々とした分列行進からは、これまでの訓練で培われた自信と、今年一年の消防団活動に取り組み決意が伝わってきました。整列した団員を前に榎本一博消防団長は「郷土愛を持って地域防災にがんばりましょう」と訓示しました。

## 兵庫県PTA中央大会が開催されました



▲大会の様子。榎列小学校PTAの実践発表も行われました

文化体育館において昨年12月1日、平成24年度兵庫県PTA中央大会・PTCA全県研究大会が開催され、県下より約800人のPTA会員の参加がありました。大会ではアトラクションとして南淡中学校と三原中学校合同による淡路人形浄瑠璃の上演。続いて国立淡路青少年交流の家所長田中裕幸氏の講演があり、最後に、県下のPTAを代表して、宍粟市の野原小学校、朝来市の糸井小学



▲南淡中学校と三原中学校の合同によるアトラクションも行われました

## 私たち、子どもたちの明るい未来へ

明るい選挙啓発ポスターの入選作品がショッピングセンター「シーパ」に展示されています。市選挙管理委員会では「子どもたちの明るい未来のためにも有権者のみなさんには投票をお願いしたい。子どもたちの作品が2月3日の市長選挙の投票率アップにつながってほしい」と話しています。ポスターは市長選挙の投票日前日の2月2日まで展示されます。



▲子どもたちが描いた明るい未来を望む選挙啓発ポスター

## 子育てについて学びました「モンセンスペアレンティング講座」

榎列公民館において昨年12月7日、保育所園児とその保護者に対して、モンセンスペアレンティング講座が行われました。この講座は子育ての技術を学習することでよりよい子育てを行えるようになることを目的として開催されました。モンセンスペアレンティングとはアメリカで開発された子どもへの援助技術で、子どもの問題行動を予防することが大きな特徴の一つとなつて

います。当日は榎列保育所と二宮保育所の園児と保護者が参加。最初に親子キッズヨガで体を動かした後、講座が開始されました。講座では、DVDで子どもと接する際の良い例と悪い例が紹介されました。子どもに対して「いい子にして」といったあいまいな言葉で伝えるのではなく、してほしいことははっきりと伝えることの大切さなどが説明されました。



▲講座を受ける保護者